

第3節 総論

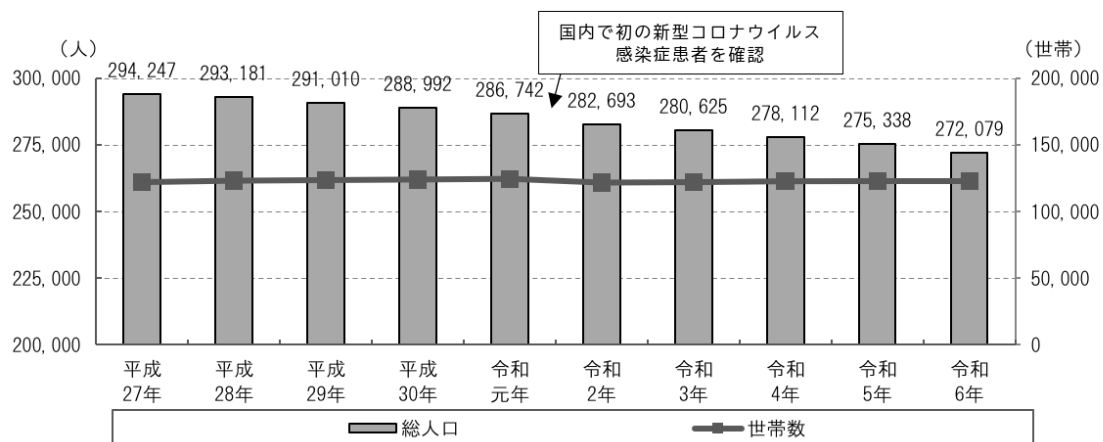
1 福島市の人口、世帯数及びこどもの人口の推移

(1) 人口、世帯数の推移

市の人口及び世帯数の推移は以下のとおりである。平成27年以降は減少傾向が継続しており、コロナ禍以降は人口減少がさらに加速しており、平成27年から令和6年までの10年間で22,168人減少している。なお、令和7年10月1日現在の推計人口は268,865人となっており、人口減少が加速している状況は続いている。

世帯数は、令和元年まで微増傾向にあったが、令和2年に減少したがそれ以降は微増傾向が進んでおり、令和7年10月1日現在は123,355世帯となっている。

《福島市の人口及び世帯数の推移》



<資料：福島市推計人口、国勢調査（各年10月1日現在）>
 （出典：福島市子ども計画（令和7年度～令和11年度））

《世帯数の推移》

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
世帯数	122,269	123,375	123,842	124,287	124,736	121,919
前年同期比		6,471	1,106	467	445	▲ 2,817

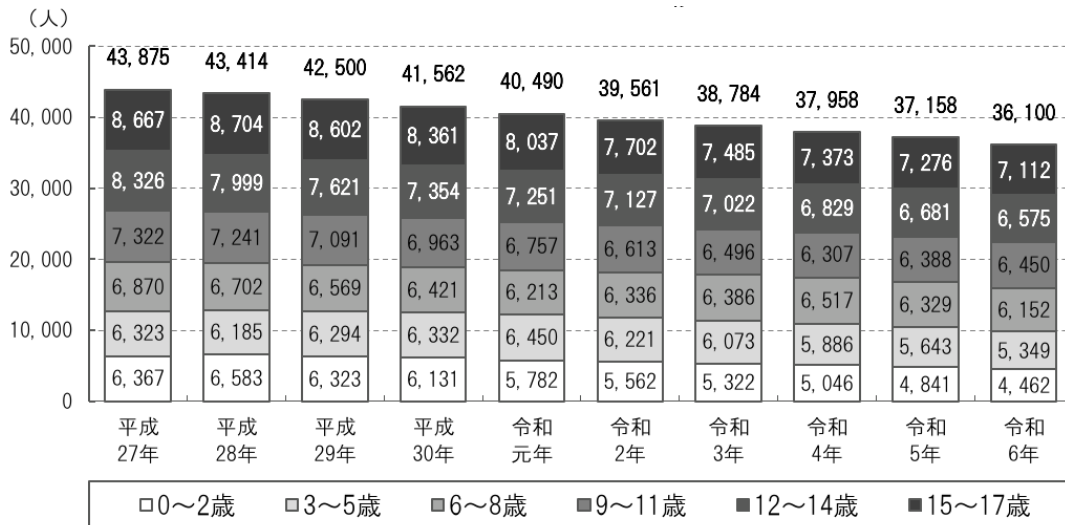
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
世帯数	122,350	122,906	123,204	123,219	123,355
前年同期比		431	556	298	15

（出典：福島市公表データより監査人が作成）

(2) こどもの人口の推移

市の18歳未満の人口の推移は以下のとおりである。ばらつきはあるがどの年齢区分においても減少傾向にあり、全体でも減少傾向が続いている。

《18歳未満の人口の推移》



＜資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）＞
 （出典：福島市子ども計画（令和7年度～令和11年度））

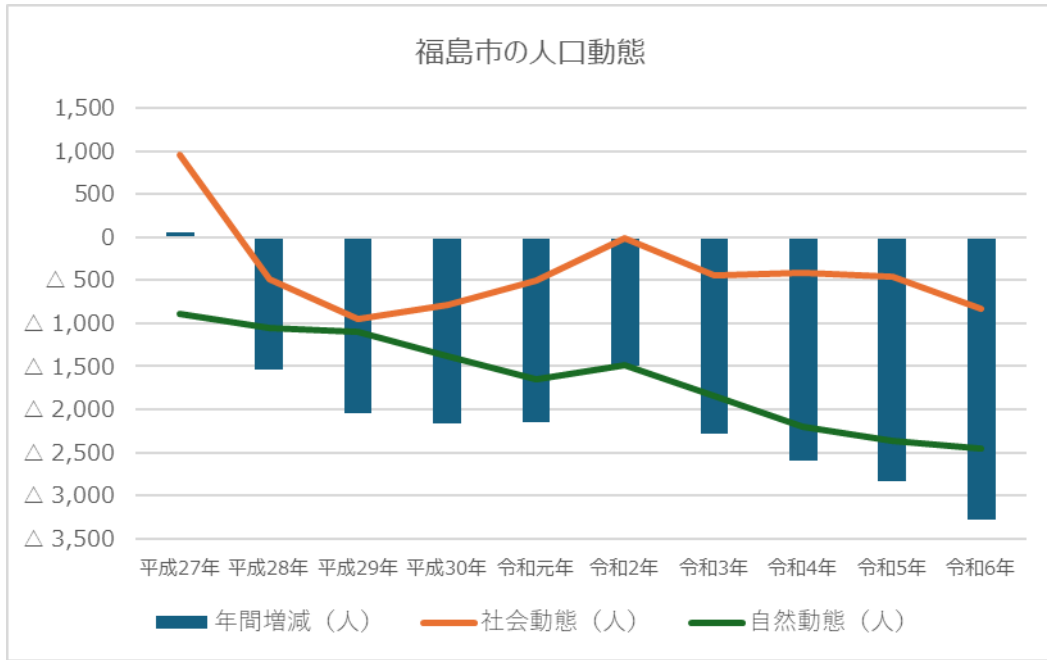
2 福島市の人口動態

平成27年から10年間の市の人口動態は以下のとおりである。平成27年は社会動態が転入超過となったため、人口はプラスに転じたが、平成28年からは社会動態も自然動態もいずれもマイナスとなっている。出生数の減少に歯止めがかからず、ここ数年は自然動態で2,000人以上の減少となっており、人口減少が年々増加している状況にある。

《福島市の人口動態》

年	年間増減 (人)	社会動態 (人)			自然動態 (人)		
		増減	転入	転出	増減	出生	死亡
平成27年	57	954	10,804	9,850	▲ 897	2,255	3,152
平成28年	▲ 1,535	▲ 483	9,815	10,298	▲ 1,052	2,094	3,146
平成29年	▲ 2,044	▲ 951	9,511	10,462	▲ 1,093	2,077	3,170
平成30年	▲ 2,163	▲ 779	9,269	10,048	▲ 1,384	1,889	3,273
令和元年	▲ 2,155	▲ 501	9,163	9,664	▲ 1,654	1,753	3,407
令和2年	▲ 1,491	▲ 10	9,078	9,088	▲ 1,481	1,806	3,287
令和3年	▲ 2,285	▲ 448	8,516	8,964	▲ 1,837	1,629	3,466
令和4年	▲ 2,602	▲ 408	8,852	9,260	▲ 2,194	1,576	3,770
令和5年	▲ 2,828	▲ 464	8,360	8,824	▲ 2,364	1,423	3,787
令和6年	▲ 3,283	▲ 826	8,080	8,906	▲ 2,457	1,284	3,741

（出典：福島市公表データより監査人が作成）



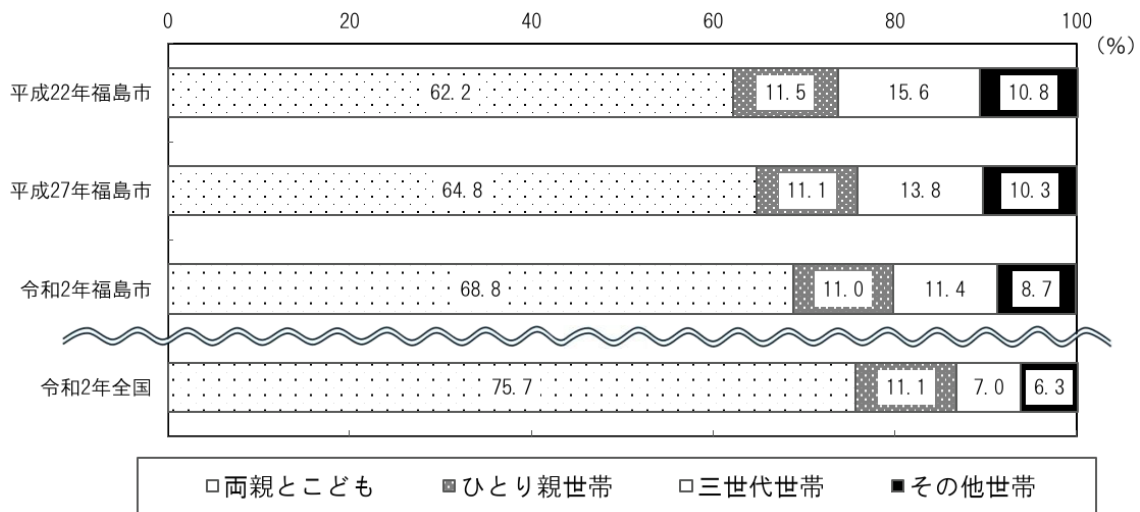
(出典：福島市公表データより監査人が作成)

3 こどものいる世帯数の推移

市の18歳未満のこどもがいる世帯数の推移は以下のとおりである。世帯構造は「両親とこどもや祖父母」といった三世帯世帯の割合は継続的に減少傾向にあり、「両親とこども」及び「ひとり親とこども」といった核家族世帯が大半を占めている。

また、ひとり親世帯の割合は、全体の約1割となっており令和2年では11.0%、世帯数は2,509世帯となっている。

《こどものいる世帯数の推移》



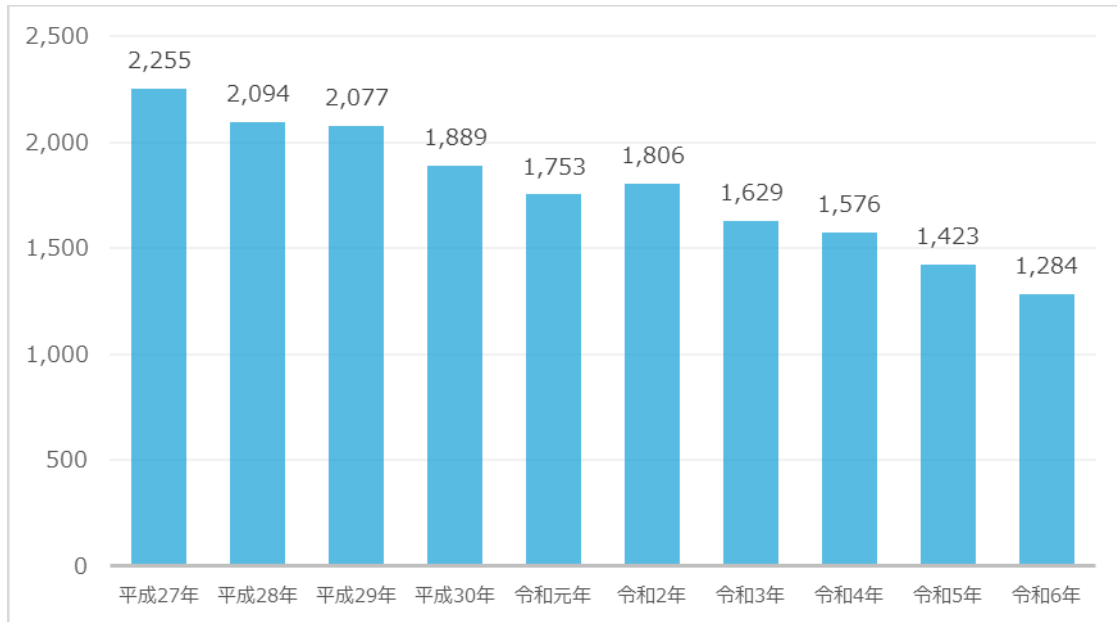
<資料：国勢調査>

(出典：福島市子ども計画 (令和7年度～令和11年度))

4 出生数、合計特殊出生率の推移

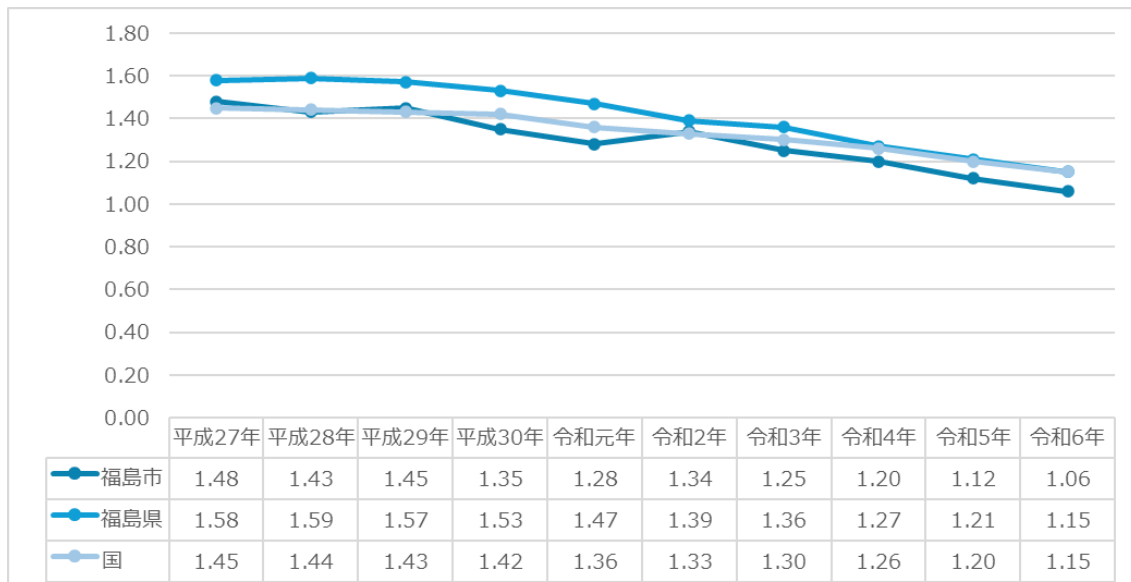
市の年間出生数の推移は、以下のとおりである。令和2年には一時的に増加したものの、その後は減少傾向にあり出生数の減少に歯止めがかかっていない。また、合計特殊出生率の推移も同様の傾向にあり、国及び福島県との比較でも令和3年以降は低い値となっている。

《出生数の推移》



(出典：福島市公表データより監査人が作成)

《合計特殊出生率の推移》



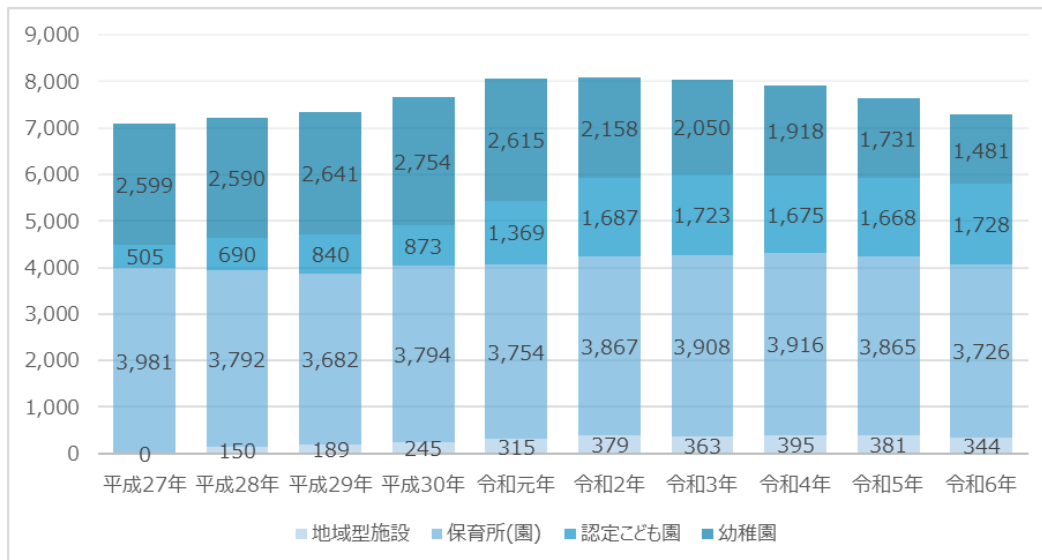
(出典：福島市公表データより監査人が作成)

5 幼児教育・保育施設の状況

(1) 幼稚園・保育施設の利用者数の推移

市の幼稚園・保育施設の利用者数の推移は以下のとおりである。幼稚園・保育施設の利用者数は増加していたが、令和2年をピークにして減少に転じている。特に、幼稚園については、共働き家庭の増加などによる保育ニーズの高まりをうけ、利用者数は大きく減少している。

《幼稚園・保育施設の利用者数の推移》

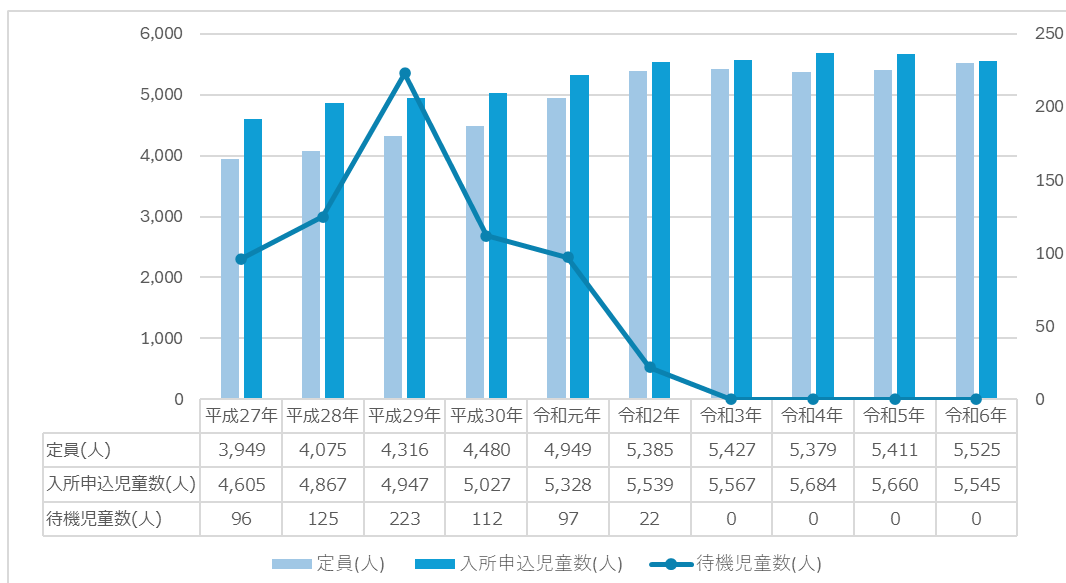


(出典：福島市公表データより監査人が作成)

(2) 保育施設の入所申込児童数及び待機児童数の推移

市の保育施設の入所申込児童数及び待機児童数の推移は以下のとおりである。

《保育施設の入所申込児童数及び待機児童数の推移》



(出典：福島市公表データより監査人が作成)

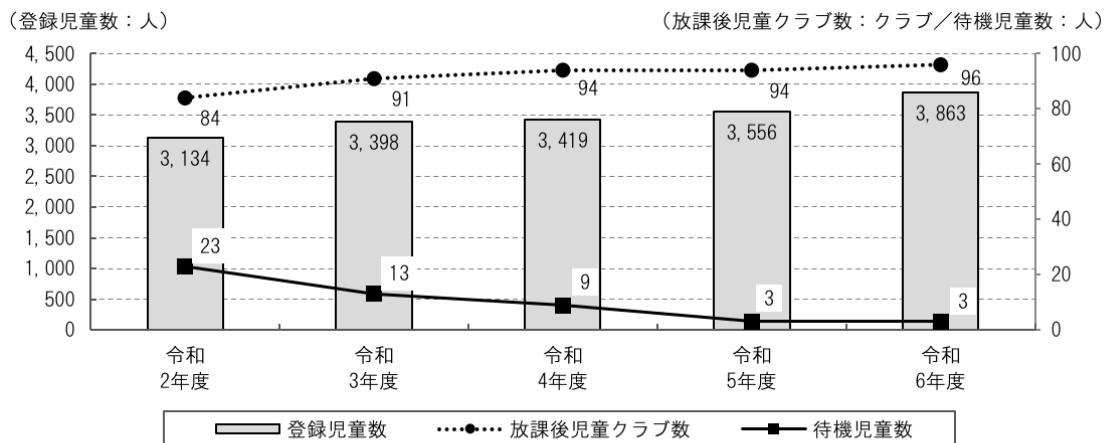
市の保育施設における入所申込児童数は令和4年をピークに減少傾向となったものの、令和6年は増加し定員を上回る5,545人の申し込みの状況となっている。

国基準の待機児童数は施策の効果もあり年々減少し令和3年でゼロとなり、その状態を継続している。なお、潜在的待機児童は令和7年で110人となっておりその削減が課題となっている（第3章 第4節 8 待機児童解消促進事業費 参照）。

6 放課後児童クラブの推移

市の放課後児童クラブの推移は以下のとおりである。市の放課後児童クラブの登録児童数は年々増加し、令和6年には3,863人となっている。放課後児童クラブ数も増加し、令和6年は96クラブとなっている。これに伴い、待機児童数は減少傾向にあり、令和6年は3人となっている。

《放課後児童クラブの登録児童数・待機児童数・放課後児童クラブ数の推移》



<資料：こども政策課（登録児童数・待機児童数：各年5月1日現在、
放課後児童クラブ数：各年度末現在）>

（出典：福島市こども計画（令和7年度～令和11年度））

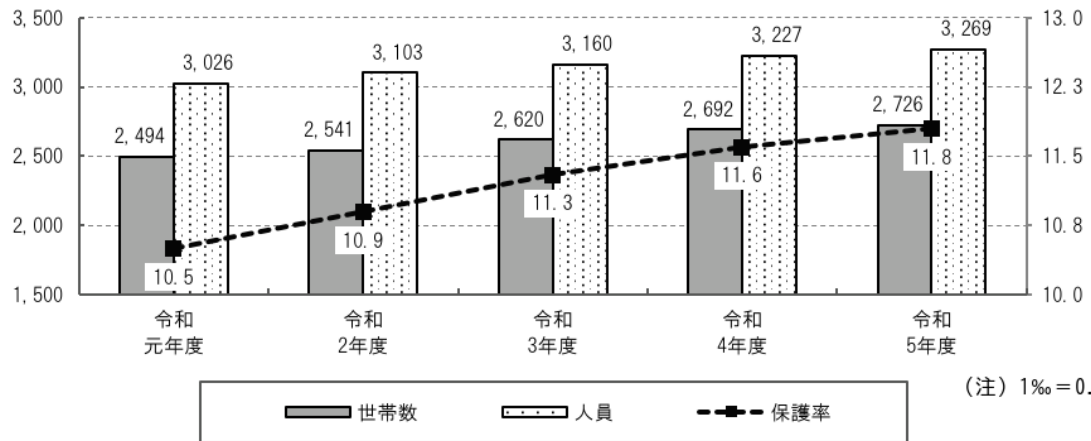
7 生活保護の状況

市の生活保護を受けている世帯数、人員及び保護率（総人口に占める生活保護を受けている方の割合）の推移は以下のとおりである。保護率は増加傾向にあり、令和5年度は、11.8%（パーミル）となっている。

《生活保護率等の推移》

(世帯数：世帯、人員：人)

(保護率：%)



<資料：「福島市の福祉事業」より（令和5年度については、令和5年4月1日現在）>
 （出典：福島市こども計画（令和7年度～令和11年度））